

## 保育のヒント～「科学する心」を育てる～

記録が楽しくなる！クラス便りが楽しくなる！／堺市立みはら大地幼稚園（大阪府）

子どもたちの遊びは、人やもの、自然と関わることでそのものが楽しくて探索的に思える場面があります。しかし、じっくりと遊びを進める場面に注目すると、目当てやルールなどがあり、思いを実現しようと繰り返す姿が見えてきます。今回は、そうした日常の何気ない子どもの栽培活動の場面に着目し、「イメージを共有し、思いを実現しよう」と何日も試行錯誤を重ねた子どもたちの姿を、クラス便りを通して保護者と共有した実践をご紹介します。



### ● 大好きなキュウリを守ろう！／5歳児

本園の子どもたちは毎年、大地農園（園内にある農園）で夏野菜の栽培・収穫を楽しんでいる。今年度、栽培しているキュウリの葉が青虫に食べられ、みんなで「青虫作戦」を考えた。「青虫作戦」では、青虫が好きな葉についてみんなで考え、畑に置いて青虫がキュウリに来ない方法を出し合い、試行錯誤する姿が見られた。

6月当初、いつものように収穫に出かけた5歳児は、「4本もキュウリが食べられている」「近くにカラスの羽がある」ことに気が付いた。「このまま、カラスにどんどん食べられてしまっは大変！」「キュウリを守ろう！」「カラス作戦」を決行した。「カラス作戦」では、青虫作戦の経験を生かし、「びっくり箱」「かかし」「矢印」「にせものキュウリ」の4つの作戦が決まり、様々な道具を使ってカラスから野菜を守ろうと工夫していた。

### ✦ 「科学する心」・大切にしたいキーワード

#### ● 好奇心

「キュウリを食べたのは誰？」「カラスはどこから来たの？」「知りたいな」という。

#### ● 試行錯誤

キュウリを守るための作戦にどのような方法があるか考え、キュウリが食べられないようにしようとする。

#### ● 伝え合い

毎日食べられてしまうキュウリをどうすれば守れるのか、友達と一緒にもっと考えようとする。

#### ● 満足感

「考えるっておもしろい」「もっと伝えたい」と思う。

### ✦ クラス便りと保育者の記録

#### ● クラス便り

「科学する心を育てる」ためには、園と家庭が繋がり、子どもの興味・関心を双方から支えることが大切であると考えている。クラス便りに子どもたちの姿を丁寧に記述することで、園だけの活動に終わらず、家庭との繋がりをもたせている。

#### ● 保育者の記録


保育者は、子どもに見られた「好奇心」・「試行錯誤」・「伝え合い」・「満足感」を記録し、保育の振り返りをする。どのような体験が見られ、何に心を動かされたのか、実際の姿から、興味・関心を探る。一人ひとりの子どもの見取りを行う。







すいせんぐみだよりNo.3  
(画像クリックでPDFが開きます)



すいせんぐみだよりNo.4  
(画像クリックでPDFが開きます)

6/4 カラス作戦 実行 

4つのカラス対策作りが台座

- ① ひっくり箱
  - 段ボールを切って、貼り合わせ箱を作る。段ボールそのものは使わない(段ボールの裏面)を使う。
  - ・ 防護と一緒につくる
  - ・ 自分だけの物を作る
- ② カガシ
  - まずは、木を真下にいく。
  - 他の長工の物をとってきた
  - ... ~~カガシ~~、カガシ 
  - カガシ 
- ③ 床印
  - 段ボールを必要は下木に貼り
  - 7/14の床印 → 完成 
  - 禁止の人は、床印の下
- ④ にせ右のキョウリ
  - 画用紙、おり紙を使って作り始める (おどろい)
  - まずは、折り紙で。
  - 木JII キョウリをたくさん作る
  - たて回す 
  - ↑ つけがいの上

「カラス作戦」の記録より抜粋

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」